

国の総合戦略の基本的な考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中で、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化、深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- デジタル技術の活用は、実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- これまでの地方創生の取組も、蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していく。

国の施策の方向

地方の社会課題解決	地方のデジタル実装を下支え	国によるデジタル実装の基礎条件整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>①地方に仕事をつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX等</li> </ul> </li> <li>②人の流れをつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住の推進、関係人口の創出・拡大、高校の魅力向上等</li> </ul> </li> <li>③結婚・出産・子育ての希望をかなえる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進等</li> </ul> </li> <li>④魅力的な地域をつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流DX等</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタル基盤の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルインフラ整備、マイナンバーカード利活用等</li> </ul> </li> <li>②デジタル人材の育成・確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル人材育成環境の構築、職業訓練のデジタル分野の重点化等</li> </ul> </li> <li>③誰一人取り残されないための取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現等</li> </ul> </li> </ul>

旭市の方向性（案）

①	第3期旭市総合戦略の策定（計画期間：令和7年度～11年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>●第2期総合戦略をベースに、デジタル要素の追加。</li> <li>●幅広い市民の意見を反映させた計画とする。</li> </ul>
②	デジタルの力を活用した地方の社会課題解決 <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の4つの基本目標をベースとして、デジタルを活用した「取り組み」や「KPI」を追加設定することを検討。</li> <li>●現在の戦略に無い取り組みについても追加を検討</li> </ul>
③	デジタル実装に向けた地方の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方の役割を踏まえ、デジタル基盤を更に作り込みなど積極的な活用を検討。</li> </ul>